

カトリック大磯教会だより

2026年 1月号

2025/12/28 発行

〒255-0002 神奈川県中郡大磯町東町 2-7-1
カトリック大磯教会(宣教部広報)
Tel 0463-61-0303/Fax 0463-61-9889
URL <http://www.scn-net.ne.jp/~cathoiso/>



あなたは今も、「不思議を感じる心」を持っていますか？

トマス・テハン

私たちは皆、生まれながらにして「不思議を感じる心」を与えられています。赤ちゃんが周囲で起きていることを探り始め、初めて何かができるようになったとき、その驚き喜ぶ様子を静かに見守ってみてください。周囲の大人がその姿に気づき、温かい眼差しを注ぐこと。それが幼児に安心感と励ましを与えます。そして願わくは、そのプロセスがその後の人生でも続いてほしいものです。しかし残念ながら、多くの子どもたちが成長し教育システムの中に組み込まれていくにつれ、この「不思議を感じる心」が薄れてしまうことがあります。

そんな中で、私が長年にわたり招かれている、ある幼稚園の「クリスマスのお祝い」での体験を皆さんと分かち合いたいと思います。その幼稚園は「森の幼稚園」と呼ばれ、静かな場所にあります。モンテッソーリ教育を取り入れ、子ども一人ひとりの“内面の成長”を大切にしています。幼い子どもたちが、年齢に似合わぬ多くのことを、あれほどもできるのかと毎回驚かされます。

幼稚園に着くと、まず園長先生とお会いし、クリスマスの準備がどのように進んでいるかをうかがいます。その後、園長先生とともに暗くしたホールに入り、そこでろうそくに火を灯していきます。そこには、馬小屋、楽器、そして多くのろうそくが並べられ、柔らかな灯りが温かく親しみやすい雰囲気を作り出します。

やがて子どもたちが、先生に導かれて、一人また一人と静かにホールへ入って来ます。列の最後には、障がいのある子どもたちとそのお母さん方が続きます。その中には、自閉症の子どもたちもいます。全部で200名ほどの子どもがいますが、皆、本当に静かに入ってくるのです。ろうそくの灯りに満ちた空間へ入るときの、子どもたちの胸の高鳴り—それは、練習のときには味わえなかった特別な経験のようです。



子どもたちはクリスマスの歌を歌い、静かに床に座ります。園長先生が私を紹介してくださり、私は短いお話として、入場の際、みんながとても静かに、それでいてワクワクした高揚感を見せてくれて、私がどれほど感動したかを褒め、そして、ろうそくの光の中だと、お互いの姿や気分が普段とはまるで違つて見えることについて、しみじみと語りかけます

続いて、子どもたちが馬小屋に献げる花を捧げます。各クラスから2名の代表が選ばれ、静かに花を捧げる姿に、皆の視線が自然と向けられます。最後に、両端に並ぶ年長クラスの子どもたちが向かい合い、小さなろうそくに火を灯します。灯りが加わり、さらに温かな雰囲気に包まれる中、先生方がクリスマスの歌を歌います。やがて灯りは消され、年長の子どもたちがゆっくりと馬小屋の前へ進み、飾られたろうそくや机を眺めます。急ぐ様子はなく、皆それぞれに見つめ、思いを深めます。先ほど触れた、障がいのある子どもたちとそのお母さん方も、驚きと感謝に満ちた面持ちで、この時を味わっています。

私は、この祝いに加わることができる恵みに心から感謝しています。そして、この体験は、まさにクリスマスの神秘に向かう良い備えとなっています。

すべてのものの創り主である神のひとり子が、ご自分を空しくして、幼子として人間の姿をとつて来てくださいました—。

それは、神の限りない愛によって、私たちが永遠に神のいのちを受け継ぐ者となるためなのです。私たちの身近にいる幼子たちとともに、クリスマスの祝いに加わることによって、私たちも再び「不思議を感じる心」を、あらためて養うことができるのではないかでしょうか。

Do You Still Have A Sense of Wonder ?

We are all born with a sense of wonder. Quietly observing an infant as the infant begins to explore what is happening around and being amazed at being able to do things for the first time. The attention and noticing this provides security and encouragement to the infant and hopefully that process will continue in the infant's life. Unfortunately for many that sense of wonder oftentimes decreases as the infant enters into the educational system. However what I wish to share with you is an invitation I have received over many years to a kindergarten's Christmas celebration. The kindergarten is called 森の幼稚園, which is in a quiet place. It uses the Montessori system of education. It places the emphasis on the child's interior development. You may be surprised at what infants can do at such an early stage in life.

When I arrive at the kindergarten I meet with the principal and get a sense of what has been happening with the preparations for the Christmas celebration. Then I go with the principal into a darkened hall and the principal begins to light the candles on tables where a Christmas crib, a musical instrument and many candles are. The candlelight creates a warm friendly atmosphere. Then we wait. The children lead by their teacher enter slowly one by one and in silence and line up in front of the tables. Taking up the rear are a small number of children and their mothers who have disabilities, some of whom are autistic. In all there are 200 children and all are silent!. The children show a sense of excitement at entering into a candlelit hall and what appears to them different surrounding to what they have been accustomed to when they had previously practiced.

Then the children sing a Christmas song. Then they sit quietly on the floor. The Principal introduces me to them and I give them a short talk praising them for how impressed I feel that they have been so quiet on entering and showing a sense of excitement. I generally reflect on how different we all look and feel in candlelight. Finally they have prepared their gifts of flowers which will be present to the Christmas Crib.

Two representatives from each class have been picked for this task. This is done in silence and all eyes follow those presenting the flowers. Finally the senior two classes, who are on opposite ends of the hall face one another and light their small candles. The added lights increase the warmth and friendly atmosphere. The teachers sing a Christmas song. After that the candles are extinguished and the senior two classes in turn slowly head to the front to look at the Christmas Crib and the other tables with the lighted candles. There is no rush and some like to look and ponder. The disabled children and their mothers that I mentioned earlier are filled with wonder and gratitude.

I'm grateful for being able to join in their celebration and what a good preparation for the mystery that Christmas is, namely that Son of the Creator of all things emptying himself and taking the form of a human infant out of God's infinite love so that we become heirs to being able to share in God's life for eternity. Is it not possible that we can nourish our sense of wonder by joining with the infants in our midst in a Christmas Celebration.



2025年12月度 教会委員会議事録要約

1. 日時場所 2025年12月6日(土)10:00~12:00 信徒館
2. 出席者 テハン神父・岩城(欠席)・増澤・鈴木・松澤(俊)・本田・平田・野口(進行)・浅石(書記)
3. 内容

(1) 典礼関係

- ・12/14(日)14時～ 来年2月～4月のローテーション会議が国府津教会で行われる予定。
- ・降誕節の予定 24日17時夜半ミサ、25日11時日中ミサ
- ・四旬節の予定 2026年2/18灰の水曜日、3/8回心式、3/29枝の主日、4/5復活祭
今後、ミサ曲Aを練習し復活祭から歌えるようにする。
- ・成人のお祝い・2026年1/11・病者の塗油訪問をおこなう(9/26.10/16実施済、12/15予定)。

(2) 宣教関係

- ・教会HP 教会報12月号(信徒のページ)及び11/8の墓地ミサ記事(活動の記録)に掲載。
- ・12/14(日)14時～16時 第6地区宣教部会が大磯教会信徒館で開催予定
- ・1/17(土)10時～12時 第6地区主催で西村桃子氏による「靈による会話」研修会が平塚教会で開催される。
大磯教会4名の割り当て、先着順12月28日締め切り、希望者は6地区宣教部の増澤まで。
- ・11/30(日) 入門式実施(北村弥生氏・本田光氏・山口なおみ氏)。翌復活祭に受洗未定の方がおられるので配慮願います。

(3) 福祉関係

- ・11/24(月) 環境セミナーが平塚教会にて開催された。参加人数は約100名。
- ・毎週金曜日には講座等集いがあり、撮影などで信徒館が使用できない時には連絡をいただきたい。

(4) 財務関係

- ・バザー収益の寄付金(大分佐賀関大火支援・国境なき医師団・カリタスジャパンへ送金)。
- ・次年度の献金袋と納入書の印刷と配付(聖堂の各人ポスト)。2025年度決算報告の準備。
- ・改修予定計画の教区本部建設委員会へ報告はお知らせのみとする。

(5) 管理

- ・12月4,5日の撮影報告 4チャンネル「エスケープ」最終話の撮影。
- ・墓地ミサ:墓地ミサ後、墓地保有者との親睦を深めるために茶話会を開催し、27名(うち遠方から11名)が参加。遠方の親族からは、「これまでミサ後すぐ帰るだけだったが、教会の方々とつながりができ安心した」との声。教会信徒からは、墓地ミサへの思いを共有し教会外の話題で交流できたとの感想。墓地管理の重要な点は「世代を超えたつながりを持つこと」で、茶話会は10～20年後の関係づくりにつながるよう企画した。
- ・教会事務より現状報告の提出

[2025年教勢調査報告書]の教区提出に伴い各担当より年間の現状報告を12月末までに事務まで連絡。

(6) その他

- ①アシストフォンに不具合が生じているので(2008年購入)、2台は作動正確なものを確保したい。管理とサポートは福祉部を中心に要検討。
- ②以前提起された教会の開門時間の延長は、前回提案をふまえて月例会で再提案し、意見を集約していく。
- ③12/7ミサ後、クリスマスパーティーの打ち合わせ(西ブロック担当)。

- ④ 12/13(土)13:30～15:30 子どものクリスマス会の予定。参加費 100 円(材料費)、12人の参加予定。担当(鈴木郁・長谷部・藤林・達崎)。
- ⑤ 一粒会報告:新規委員として再任 鈴木郁子氏(2年)テハン神父様の承認。
- ⑥ 12/12(金)11 時～ 韓神父・李神父・保久神父の銀祝ミサの参列者(自由参加)。
- ⑦ 2026 年 1/18(日)16:00～「聖公会とカトリック合同夕の礼拝」カトリック茅ヶ崎教会。
- ⑧ 2026 年 3/21(土)15:30～日本フランス語カトリック共同体の大磯教会来訪。数年前に訪問あり基本的に了承。岩城さんから連絡をしてもらう。ミサ等あるので今後典礼部等で要検討。

(7) 新委員選出状況

- ・候補者9名、推薦人の数のべ 21 名。候補者が揃ったので今後隨時個別に接触していく。

4. テハン神父より

- ・皆様のご協力といろいろなことに参加して下さったことに感謝。結婚式はなく、葬儀も少なかつたですが、新しい年を迎える3人の入門者のために祈りたいと思います。

※次回(第10回)委員会は1月10日(土)開催。進行:浅石、書紀:岩城

担当の順番 ①野口②浅石③岩城④鈴木⑤平田⑥本田⑦増澤⑧松澤(俊)

以上

2025年12月度 月例会報告

1. 日時場所 2025年12月14日(日) ミサ後 12:00～13:10 カトリック大磯教会信徒館
2. 出席者(敬称略) 16名 松澤夫妻 田原夫妻 岩城 増澤 野口 平田 岩崎 城戸 赤井 藤林 岡澤 梶山 高橋(伸) 渡辺
3. 進行／書記 松澤／渡辺
4. 委員会報告 (詳細は委員会報告議事録参照) 以下は補足等

(1) 典礼関係

- ・24日夜半のミサ(17時～)のミサ前に、20分ほど聖歌隊のキャロリング(集合16時30分)。

(2) 宣教関係

- ・本日(14日)大磯教会にて、第6地区宣教部会が信徒館で行われるが、聖堂では、キャロリングの公開リハーサルが行われるので、その旨PRする。
- ・金曜日の午後、入門講座が行われることが多いので、撮影等はご注意下さい。

(3) 福祉関係

- ・第6地区福祉部会が、2026年2月1日(日)に、大磯教会で開かれます。

(4) 財務関係

- ・次年度の献金袋用の納入明細書は各人のポストに入れてあるので自分で管理して下さい。
- ・バザー収益の報告(最終50万円)のうち、40万円は来年度改修予定の大規模献金へ預金とする。さらに、10万円は寄付金として各2万円を以下の5ヶ所に送金とする。

① 大分佐賀関大火 ② 国境なき医師団 ③ カリタスジャパン ④ ミャンマー地震 ⑤ 愛の献金

(5) 管理関係

- ・初めて墓地ミサ(11/8)後に、小規模交流会を行いました。参加者27名(遠方から11名)。遠方からの参加者と、教員との新しい交流が始まっています。
- ・玄関の鍵の件:最近、不具合を感じる人が増えてきたので、具体的に業者と検討し、ナンバーリングケースで鍵を管理することをベースとした、新規の鍵を発注することになりました。

5. その他

- ① 欠員補充の任期「1年」の教会委員公募の件は、現在候補者9名の中で話し合っています。
- ② アシストフォンは、少し古くなり使用者が少ないので、管理が悪かった。(2008年購入)。今後は福祉部で管理して行くことになりました。
- ③ 以前提起された、教会の閉門時間の延長の件は今でも諦めていないとのことで、話し合いに留守番担当の私(渡辺)も加わることになりました。

環境セミナー 報告

第6地区運営会事務局:藤林朋美

テーマ: 『気候危機の現状とラウダート・シ — 母なる地球に愛をこめて —』

日時場所: 11月24日(祝・月) 会場:カトリック平塚教会

3名の講師の方々をお招きし、それぞれのご専門やお立場からお話を伺いました。

理学博士の境野信氏からは、化学的な見地と多くのデータに基づき、近年の気候変動や危機的な地球環境についてお話をいただきました。

イエズス会司祭の瀬本正之神父様は、『ラウダート・シ』の共同翻訳者であり、『ラウダーテ・デウム』の翻訳者でもいらっしゃいます。ユーモアを交えながら、クリスチヤンと環境問題の関わりについて語ってくださいました。

そして、メリノール宣教会のシスター、キャサリン・レイリーは、深刻化する地球環境や平和の問題について、これまでの取り組みを通して感じていることや、ご自身の深い思いを熱心にお話くださいました。

近年の異常気象は、自分を含め多くの人が実感していることだと思います。未来を生きる子どもたちのために、今できることは何かを改めて考える機会となりました。神様からいただいた大切な地球を愛することは、私たち自身を大切にすることにもつながります。難しいことではなく、日常生活の中での小さな心がけ、行動の改善を積み重ねること、そしてその輪を広げていくことが大切だと感じました。

講演の様子は近日中に YouTube でも配信される予定です。公開されました際には、皆さんもぜひご覧ください。



境野信先生



瀬本正之神父

韓・李・保久 3 司祭の銀祝ミサ

岩城 秀彦

2025年12月12日(金)、カトリック茅ヶ崎教会にて韓・李・保久3司祭の銀祝ミサが開催され、3司祭の他にテハン師、宮内師、稻葉師も司式に加わり、また典礼準備等は茅ヶ崎と小田原教会信徒の皆様にご尽力いただき、盛大かつ終始晴れ晴れとして明るい雰囲気で執り行われました。

特に韓国のお二人はまだお若いのに叙階して四半世紀も経っているとは驚きです。韓司祭は説教の中で、神父は生涯で3つ教会を建立すると天国に直行で行けるのだ。彼は若いころソウルで1つ教会を建てた。そしてつい最近この茅ヶ崎教会を立派に改築し終えた。あと1軒建てればOKだと、熱く語っていました。一方李神父は、梅村司教の後任司教はこの3人の中から選ばれるはずから皆さん期待していくくださいと、愛嬌たっぷりに話されていました。彼らはいつも軽妙洒脱なユーモアトークを絶やさない、とても愛すべき人間だと、私は改めて感じた次第です。

3司祭の教区における今後ますますのご活躍を心より祈念いたします。



1次会 in 茅ヶ崎教会マリア館

2次会 in 小田原ベトナムレストラン
「PHO TUOI OHAYO」

2026年1月及び2月第1週 主日のミサ 奉仕者予定

日	主日 司式	聖書 朗読箇所	聖歌						奉仕者		侍者	ミサ 準備	お花 当番
			入祭	答唱	奉納	派遣	オルガン	先唱	朗読 * 朗唱	奉納			
1日 (木)	テハン神父 11時～	I 民数記 6・22-27 II ガラテア 4・4-7							岩城	渡辺			
	神の母聖マリア	福 ルカ 2・16-21	典 152	典 55	典 16	典 42	梶山 真	本田	野口	清野	市原	達崎	野口
4日	稲葉神父	I イザヤ 60・1-6 II エフソ 3・2、3b、5-6	典 25	典 136	典 98	典 148	鈴木 郁	藤林	松澤 ま	七條			
	主の公現	福 マタイ 2・1-12		①②③					達崎 伸	岩崎	松田 富	野口	浦山
11日	テハン神父	I イザヤ 42・1-4、6-7 II 使徒言行録 10・34-38	典 37	典 23	典 32	典 149	碇井 玲	浅石 奈	* 長谷部	浅石			
	主の洗礼	福 マタイ 3・13-17		①②③					増澤	赤井	阿部 公	藤林	龍造寺
18日	テハン神父	I イザヤ 49・3、5-6 II 一コリント 1・1-3	典 5	典 54	典 107	典 147	松田 厚	高橋 伸	堀江	勝部			
	年間第2主日	福 ヨハネ 1・29-34		①②③					藤林	和田	松田 真	阿部 公	清水
25日	テハン神父	I イザヤ 8・23b～9・3 II 一コリント 1・10-3、17	典 77	典 73	典 169	典 46	梶山 真	達崎 伸	佐藤 や	下川	市原	藤林	野口
	年間第3主日 (神のことばの主)	福 マタイ 4・12-23 △4・12-17		①②⑥					* 岩城	増澤			
1日	韓神父	I ゼファニア 2・3；3・12-13 II 一コリント 1・26-31	典 80	典 19	典 144	典 184	鈴木 郁	渡辺 晃	野口	林	松田 富	達崎	高橋
	年間第4主日	福 マタイ 5・1-12a		①③④					浅石 奈	清野			

○ 2026年1月の掃除当番

第1週(～3日)	第2週(～10日)	第3週(～17日)	第4週(～24日)
東小磯・西小磯	石・国・二	平塚・秦野 A	平塚・秦野 B

おしらせ

1. 行事予定

- ・1/11(日) 成人のお祝い 吉津清正さん
- ・1/17(土) 10時～12時の第6地区主催、西村桃子氏による「靈による会話」研修会(平塚会)は、平塚教会設備工事の都合で、**3月7日(土)**に順延になりました。
- ・1/18(日)16:00～ 「聖公会とカトリック合同夕の礼拝」 カトリック茅ヶ崎教会
- ・1/25(日)14:00～ 第6地区全体会 茅ヶ崎教会
- ・2/1(日)14:00～ 第6地区福祉部会 大磯教会
- ・四旬節の予定 2/18 灰の水曜日、3/8(日)回心式、3/29(日)枝の主日、4/5(日)復活祭

2. その他

- ・帰天者 ラファエラ・マリア飯島禮子 様 11月28日帰天。

編集後記

すっかり寒くなり、クリスマスも無事楽しく過ごして年の瀬を迎えています。皆様の2025年はどのような1年だったでしょうか？喜怒哀楽に満ちていたり平坦だったり、有意義であったりそうでなかつたり、濃かつたり薄かつたり色々ですが、私にとっての1年365日は残人生の中で大きなシェアを占めていて、とてもいとおしく大切な日々でした。

新年の初日の出も楽しみですが、まずはこの1年間をちゃんと生き抜き大過なく過ごしてこられたことに感謝して、大晦日の落日に向かって手を合わせたいと思います。本当にありがとうございました。